

学校教育目標	○主体的な学びを創り出します。＜知＞ ○豊かな心と健やかな体を育みます。＜徳・体＞ ○よりよい社会を築く力を養います。＜公・開＞					
学校概要	創立 49 周年	学校長 坂井 雅代	副校長 高橋 陽子	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 428 人	主な関係校: 下田小学校・駒林小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	日吉台西中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
＜問題発見・解決能力＞ ＜自分づくりに関する力＞ ＜持続可能な社会の創造に貢献する力＞	日吉台西中学校 下田小学校 駒林小学校	課題を発見し、主体的に問題解決に取り組む子ども 互いを認め合い、ともに学び合う子ども 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実 ・学習に向かう素地を身に付けるために、子どもが主体になる教室をつくる。 ・ともに学び合う姿を目指して、子どもに委ねる授業づくりと安心できる風土づくりをすすめる。 ・小中合同授業研究会では、主体的に問題解決に取り組む 子どもの姿をもとに協議を行い 、授業改善を図る。 ・小中連携を深め、 小学校でのICTの効果的な実践に基づき 、中学校におけるICT活用の充実を図る。

中期取組目標	・仲間と協働し学びを深める授業づくりを行うとともに、 ICT端末を効果的に活用しながら 個に応じた指導を充実させ、主体的に学習に取り組む態度を育てます。 ・ 一人ひとりの状況や思いを尊重し 、それぞれの個性や多様性を認め合い、互いを高め合う態度を育てます。 ・課題と向き合い、自ら考え判断し発信することで自己肯定感を醸成し、自己の生き方を追求する態度を育てます。 ・様々な人や社会と関わることで新たな価値を見出し、社会に貢献する態度を育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①育成を目指す資質・能力を明確にした校内授業研を実施する。 ICT端末を効果的に活用し 、グループ学習や課題解決学習を通して思考力・判断力・表現力等の育成を図る。② 授業づくりアンケートを実施し、集計結果を基にしながら授業改善 を行う。③行事などを通して、主体的に探究活動に取り組む姿を育てる。
担当	学習活動指導部・研究研修部	
徳	人権教育	①生徒の実態と発達段階を考慮し、道徳の授業計画・指導計画を立て、指導方法を工夫して効果的な学習を進める。②人権教育の推進のために職員研修の充実を図り、人権講演会や人権作文に全校で取り組む。③ブロック内の二つの小学校と連携を図りながら、系統性や継続性のある人権教育の推進を図る。④ 生徒の意見を尊重した 生徒会活動や行事運営を通して、自主的、創造的な活動ができる生徒の育成を目指す。
担当	共生教育指導部	
体	健康教育	①保健体育科全単元を通して体力向上を図ることに重点をおき、自己の課題解決力を身に付けられるようにする。②体力・運動能力調査の結果分析等に基づき「体育・健康プラン」の改善を図る。③保健体育で学習したことを基に、自らの健康や安全を守ることのできる生徒の育成を目指す。④食に関する指導生徒自身の気づきを通して、生涯にわたり健康を考えることのできる生徒の育成を目指す。
担当	保健体育科・健康教育指導部	
公開	ESDの推進 (平和教育含む)	①教科等の学習内容とSDGs17の目標とつながりを示し、実社会の課題を自分のこととして捉え、横断的な学びを深め、探究的な学習に主体的に取り組む態度を養う。②SDGsを意識し、グローバルな諸問題に目を向け、平和に関する学習を積み重ね、今後の自己の役割や価値観について考えを深め、 自ら発信する力 の育成を目指す。
担当	研究・研修部	
いじめへの対応		①Y-Pアセスメント・アンケートの活用、定期的な教育相談や日々の丁寧な相談活動の充実、スクールカウンセラーの効果的な活用を図り、課題や問題の早期発見、早期対応、早期解決に努める。②日々の学級経営や横浜プログラムの実践等を通し、自己肯定感や他者への思いやりを育む支援を行う。③子ども会議や学活・道徳において 生徒が話し合う機会を設定し 、生徒自らが考える未然防止への取組を行う。これらの内容を学校いじめ防止基本方針に反映させ、全校で共有する。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①キャリアステージに応じた役割を認識し、具体的な目標の設定と振り返りを通して、教職員一人ひとりの資質・能力の向上を図る。②効率的な組織運営を目的とした業務内容の精選と改善を行い、教職員の業務量の削減や業務分担の適正化に取り組む。また、 ICTを活用した業務の効率化や情報の共有化を図り 、組織的な働き方改革につなげる。
担当	学年連絡会・メンターチーム	
地域学校協働活動		①学校運営協議会において、日吉台西中ブロック内の小中学校と地域とで9年間で育てる子ども像とその取組について共有し、学校行事や授業参観等の機会を踏まえて具体的な学校の課題について熟議し、学校教育の充実に向けて組織的、継続的な連携強化を図る。②総合的な時間や道徳の時間において、地域人材を活用し、 様々な人と関わる中で自己を見つめ 、自己有用感を高める取組を推進する。
担当	連携・渉外部	
児童生徒指導		①互いの人権を尊重でき思いやりのある生徒の育成を図り、ぬくもりのある生徒支援の実践に努める。② 丁寧なアセスメント や教職員間の情報共有を大切にしながら、チームとして組織的に指導・支援に取り組む。③多様な集団活動において 関わり合う場面を大切にし 、ポジティブ支援を通して自己肯定感や課題解決能力を高める。
担当	共生教育指導部	
特別支援教育		①アセスメントを丁寧におこない、 生徒一人ひとりに寄り添った 支援の計画と実践に努める。②専門機関や保護者との連携等を含め、学校チームとしての支援の力を高める。③校内ハートフルの運営について学校チームで検討し、 生徒の思いや目標に応じた 支援の充実に努める。登校支援や学習支援における ICTの効果的な活用を検討し 、実施する。
担当	特別支援委員会	
担当		